

市長賞

堺市立 南八下小学校 六年

松下 菜南

自分も他人も大切に

なぜ犯罪や非行が起こるのか。私は考えてみた。社会や人に不満があるからではないか。非行をなくすためには、町に住んでいる人たち全員が幸せでなければいけないと思う。そして、その地に住んでいる、だれもが幸せな生活をおくるためにはどうしたらいいか考えてみた。

ふと、学校の国語の授業で習った「ユニバーサルデザイン」の事を思い出した。「ユニバーサルデザイン」とは、障害の有無や性別・年齢い関係なく暮らしやすく利用しやすい建物や仕組み・サービスなどを提供していこうという考え方だ。この「ユニバーサルデザイン」は社会や人に対する不満をなくせるのと同時に非行もなくせるのではないかと考えた。なぜなら、ユニバーサルデザインの事を多くの人を知ると他人のことも考えることができるようになる。さらに、一人一人の助け合いの気持ちが生まれ、町全体にやさしいふんいきが広がり、社会みんなにやさしいなどだれもが感じる事ができたら、非行をしようと思う人も無くせるのではないかと思う。

私の学校には山口さんという技術職員さんがいる。その人は「やまぐつちゃん」「山口のおっちゃん」などと呼ばれており、とても生徒に親しまれている。山口さんがいると、話しかけたくなる。生徒のみんなも山口さんが大好きだ。なぜ山口さんが親しまれているのか考えてみた。山口さんはいつも笑顔であいさつをしてくれている。その時私は自分にあいさつをしてくると、自分が大切にされているようにうれしい。学校でもよくあいさつをしましょう。などと呼びかけられることがある。なぜあいさつをしないといけないのかは、何回も教えられているが、いつもしつくりこないまま終わってしまう。だけど、山口さんにあいさつをしてもらうと、うれしいし幸せな気持ちがあふれていく。これが、あいさつをする意味だと私は考える。そして、山口さんのような人が増えたら非行もなくなるのではないかと考えた。なぜなら、あいさつをされるとうれしい気持ちになり、私もその気持ちをお返ししたくなる。そういう、感謝の気持ちの輪が広がっていけば、町全体があいさつをする人いっぱいになるだろう。そう

なれば、うれしい気持ちになる人が多くなり、平和で非行のない安心して暮らせる町を実現できるのではないかと思う。

母の好きな曲に、SEKAI NO OWARIの“ドラゴンナイト”という曲がある。その歌詞には「人はそれぞれ正義があって争いあうのは仕方ないのかもしれない。だけどぼくのきらいな彼も彼なりの理由があると思うんだ」という部分がある。この考え方は、非行や犯罪をしてしまった人にも何か理由があるのではないかと想像することが大切であると伝えているのではないかと私は考える。私は、学校で過ごしていると、クラスメイトに対してイライラすることが多々ある。だが、この歌詞のようにその人にも理由があるのではないかと考えようと思ったし、その人のことをきらいと決めつけることなく相手の意見にも耳をかたむけることを意識したい。

そして、私は自分も他人も大切に^{ひと}して過ごしていきたい。

